

第34回 契約・調達管理会議 議事要旨

1 開催日時

令和7年2月12日（水曜日）16時00分から17時20分まで

2 開催場所

東京都庁第一本庁舎14階 14D会議室（オンライン会議併用）

3 出席者

（1）委員（敬称略、五十音順、○委員長）

○鵜川 正樹 監査法人ナカチ／公認会計士
川口 貴史 公益財団法人東京2025世界陸上財団総務企画室財務副部長（契約・調達課長事務取扱）
滝口 広子 北浜法律事務所・外国法共同事業／弁護士
中山 正晃 東京都生活文化スポーツ局国際スポーツ事業部事業調整第一課長
三浦 大助 東京都生活文化スポーツ局事業調整担当部長
森谷 真咲 公益財団法人日本陸上競技連盟事務局経営企画部管理課長

（2）事務局

東京都生活文化スポーツ局

4 要旨

（1）開会

（2）議事（発言者の敬称略）

ア ・東京 2025 世界陸上サプライヤー（新聞）スポンサーシップ契約

・東京 2025 世界陸上競技選手権大会における新聞広告に係る業務委託（VIKに係る供給契約）【資料1】

<説明・確認>

案件の概要について、事業担当者から主に以下を説明。

・東京 2025 世界陸上サプライヤー（新聞）スポンサーシップ契約

（ア）「新聞」カテゴリーにおけるスポンサー公募を行う。

（イ）協賛基準額は3,000万円とし、「新聞広告スペースの提供」を内容とする現物協賛（VIK）とする。

（ウ）入札にあたっては、参加事業者が「現物協賛の基準」を満たす新聞広告の効果指標を提示し、最も高い指標を示した事業者を優先交渉者（落札候補者）に決定する。

・東京 2025 世界陸上競技選手権大会における新聞広告に係る業務委託（VIK に係る供給契約）

（ア）新聞紙面へ大会の広告を掲出することにより、大会の気運醸成を進め、大会の認知度や参画意識を高めることで、本大会の成功及びフルスタジアムを実現することを目的とする。

（イ）入札時に優先交渉者が提示した現物協賛（VIK）の供給内容に基づき、協賛基準額を契約額とする「新聞広告に係る業務委託契約（VIK に係る供給契約）」を締結する。

<質疑・意見など>

滝 口：新聞広告の効果指標とは何か。

担当者：露出の効果を客観的に表す指標として新聞の発行部数と掲載箇所の段数を掛け合わせて数値化したもの。

滝 口：昨今、デジタル媒体を活用した広告が盛んだが、紙媒体の新聞を選択した理由は。

担当者：今回は新聞だが、WA からは、デジタル広告のカテゴリーを獲得できている状態であり、今後の競争入札については検討中である。

鵜 川：発行部数は首都圏のものか。既存のデータがあるのか。

担当者：東日本エリアの発行部数である。各新聞社の発行部数等を調査し発表している協会があり、そのデータを用いた。

鵜 川：1 社に絞る必要があるか。広告であれば多数の新聞に掲載されたほうが良いのではないか。

担当者：スポンサーシップ販売方針において、1 カテゴリー 1 社と決まっている。

イ 東京 2025 世界陸上競技選手権大会コマーシャルディスプレイに係る計画・運營業務委託
【資料 2】

<説明・確認>

案件の概要について、事業担当者から主に以下を説明。

（ア）大会期間中、スポンサー等のステークホルダーが、展示・デモンストレーション・サンプリングなどを集中的に行うエリアである「コマーシャルディスプレイ」を計画し、実施運営する業務を委託する。

（イ）主な業務として、実施体制の構築・出展者との調整、制作物及び備品の手配に係る業務、搬入搬出・設営撤去業務や当日の運營業務実施設計及び施工を行う。

<質疑・意見など>

森 谷：出展は希望制か。

担当者：スポンサーの権利として設けており、スポンサーの中で希望を募っている。

ウ 東京 2025 世界陸上競技選手権大会における FF&E の運営及び大会関連施設の会場
設營業務委託【資料 3】

<説明・確認>

案件の概要について、事業担当者から主に以下を説明。

- ・大会における FF&E 及び会場設営の「実施計画」を策定するとともに、FF&E の運営及び会場設営を行い、各会場を大会関連施設として使用できる状態に設営する。

※FF&E：Furniture, Fixture and Equipment（家具、什器・備品）

<質疑・意見など>

特になし

エ 東京 2025 世界陸上競技選手権大会における国立競技場内ラウンジ飲食提供等業務委託【資料 4】

<説明・確認>

案件の概要について、事業担当者から主に以下を説明。

- (ア) 大会の基本方針に基づき、大会期間中、国立競技場 2 階に設置されるラウンジにおいて、大会に参加する VVIP 及び VIP に対して飲食サービスを提供する業務等を委託する。

※VVIP：WA 幹部、WA 及び世界陸上財団のゲスト等

VIP：各国陸上連盟会長、代表団幹部、WA のゲスト等

- (イ) 主な業務として、運営計画の作成、飲食の提供、会場運営業務を行う。

<質疑・意見など>

滝 口：提供される飲食物のクオリティをどのように確保するのか。

担当者：仕様書の中に、こういった方が参加されるかやラウンジの運営方針等を示しており、対象者に応じた適正な食事が提供できるよう、契約締結後に、メニューについて財団と協議を行う旨を記載している。

オ 仮設構築物等整備業務【資料 5】

<説明・確認>

案件の概要について、事業担当者から主に以下を説明。

- ・本業務の発注後に WA による現地視察や放送事業者のオーダー等により、整備内容や数量の変更が生じたため、契約変更を行う。

<質疑・意見など>

滝 口：増要素だけでなく減要素も調整して反映しており、増加金額をなるべく抑えるよう工夫している点は評価できる。

鵜 川：発注当初から WA とコミュニケーションを取って盛り込めなかったのか。変更に至った経緯をわかるようにしてもらいたい。

担当者：発注当初では記者席をどうするか具体的な内容が決まっていなかった。財団としてはなるべく既存の記者席を活用し費用を抑えた形で進めたかったものの、WA が実

際に現場を見てフィニッシュライン付近に作る必要があると強い意向が示された。
そのため、他のミックスゾーン等も含めて整備内容を見直し、費用を精査しつつ、
チケット収入も最大化できる内容で変更するという判断に至った。

（３）委員長によるまとめ

- ・ 契約予定案件については、各委員の意見もふまえ契約手続きを進めていただきたい。

（４）閉会